

○岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則

令和4年9月26日規則第100号

岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、岩国市看護学生修学資金貸付条例（令和4年条例第23号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において使用する用語は、条例において使用する用語の例による。

(看護師等の業務従事要件)

第3条 条例第2条第3号に規定する規則で定める時間は、医療機関等において定められている通常の看護師等の所定労働時間数の4分の3（当該時間数が30時間を下回る場合は30時間とする。）とする。

(修学資金の貸付対象経費)

第4条 修学資金の貸付けの対象となる経費は、看護学校の入学金、授業料、実習費、施設設備費その他の看護学生が看護学校に支払う費用のうち市長が特に認めたもの（以下「学費」という。）とする。

(貸付けの申請等)

第5条 条例第5条の規定による貸付けの申請をする申請者は、次に掲げる書類を市長に提出しなければならない。

- (1) 看護学生修学資金貸付申請書兼委任状（様式第1号）
- (2) 申請者及び生計を一にする者（以下「同一生計者」という。）全員の住民票の写し
- (3) 申請者の学業成績表
- (4) 看護学校の在学証明書又は入学許可書の写し
- (5) 申請者及び同一生計者全員の所得証明書
- (6) 申請者及び連帯保証人が署名押印した誓約書（様式第2号）
- (7) 申請者及び連帯保証人の印鑑登録証明書
- (8) 連帯保証人の市町村民税の課税証明書及び市町村民税の完納証明書

2 修学生は、次年度も引き続き修学資金の貸付けを受けようとするときは、看護学生修学資金貸付継続申請書兼委任状（様式第3号）に学業成績表を添えて、市長に提出しなければならない。

3 前2項の規定による申請は、在学している、又は入学する看護学校を通じて行うものとする。

4 前項の規定により申請を受けた看護学校の学校長は、申請者に係る推薦書（様式第4号）を市長に提出するものとする。

(連帯保証人)

第6条 条例第5条の連帯保証人は、申請者と連帯して修学資金を返還する債務を負担するものとし、次に掲げる要件を全て満たす者でなければならない。

- (1) 独立の生計を営んでいること。
- (2) 前年度の市町村民税が課税されていること（第3項に規定する者に限る。）。
- (3) 前年度の市町村民税を完納していること。

- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が修学資金の返還が特に困難であると認める理由がないこと。
- 2 連帯保証人のうち1人は、申請者の父母、親族又はこれに代わる者でなければならない。
- 3 連帯保証人のうち1人は、申請者と生計を別にする者でなければならない。
- 4 修学生及び修学資金の貸付けを受けた者（以下「借受人」という。）は、連帯保証人を変更しようとするときは、連帯保証人変更願兼誓約書（様式第5号）に新たな連帯保証人の印鑑登録証明書、市町村民税の課税証明書及び市町村民税の完納証明書を添えて、市長に提出しなければならない。

（貸付けの決定及び通知）

第7条 市長は、第5条の規定による申請があったときは、その内容を審査し、条例第6条の規定による修学資金の貸付けの可否を決定し、看護学生修学資金貸付承認決定通知書（様式第6号）又は看護学生修学資金貸付不承認決定通知書（様式第7号）により、申請者に通知するものとする。

（貸付けの方法）

第8条 条例第7条の規定による修学資金の貸付けは、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める交付の方法により行うものとする。

- (1) 4月から9月までの6か月分 4月又は5月に交付
- (2) 10月から翌年3月までの6か月分 9月又は10月に交付
- 2 市長は、申請者から当該修学資金の受領について委任を受けた看護学校に対して修学資金を交付するものとする。
- 3 前項の規定により修学資金の交付を受けた看護学校は、既に申請者から学費の納入を受けているときは、当該交付を受けた修学資金に相当する額を当該申請者に返還しなければならない。

（届出）

第9条 修学生は、次の各号のいずれかに該当するときは、速やかに市長に届け出なければならない。

- (1) 退学したとき。
- (2) 休学するとき。
- (3) 停学となったとき。
- (4) 1か月以上引き続いて欠席をしたとき。
- (5) 留年したとき。
- (6) 本人又は連帯保証人の氏名、住所その他重要な事項に変更があったとき。
- 2 前項の規定による届出は、看護学校の学校長の証明等のある異動届（様式第8号）により行うものとする。
- 3 修学生は、第1項第2号、第3号又は第5号の規定による届出をした場合において、復学し、又は進級したときは、速やかに復学（進級）届（様式第9号）により市長に届け出なければならない。
- 4 修学生は、修学資金の貸付けを受けることを辞退するときは、速やかに辞退届（様式第10号）により市長に届け出なければならない。

5 借受人は、第1項第6号に該当するときは、第2項の異動届に変更を証する書類を添えて、市長に提出しなければならない。

6 修学生及び借受人が死亡したときは、その相続人は、連帯保証人と連署の上、死亡届（様式第11号）に当該事実を証する書類を添えて、市長に届け出なければならない。
（返還の免除申請等）

第10条 条例第9条第1項及び第2項の規定による修学資金の全部又は一部の返還の免除を受けようとする借受人は、看護学生修学資金返還免除申請書（様式第12号）に免除を受けようとする理由を証する書類を添えて、市長に提出しなければならない。

2 市長は、修学資金の返還を免除することの可否を決定したときは、看護学生修学資金返還免除決定通知書（様式第13号）により借受人に通知するものとする。

3 条例第9条第2項各号のいずれかに該当する場合における修学資金の一部の返還の免除に係る額は、返還すべき修学資金の総額を同条第1項第1号に規定する義務期間の月数で除した額に、市内の医療機関等において看護師等の業務に従事した月数（15日以上従事したときは、これを1か月とする。）を乗じて得た額とする。

（返還の猶予申請等）

第11条 条例第10条の規定による修学資金の返還の猶予を受けようとする借受人は、看護学生修学資金返還猶予申請書（様式第14号）に猶予を受けようとする理由を証する書類を添えて、市長に提出しなければならない。

2 市長は、修学資金の返還を猶予することの可否を決定したときは、看護学生修学資金返還猶予決定通知書（様式第15号）により借受人に通知するものとする。

（返還等）

第12条 条例第11条の規定により修学資金を返還しなければならない借受人は、同条各号のいずれかに該当することとなった日から14日以内に、看護学生修学資金返還明細書（様式第16号）を市長に提出しなければならない。

2 修学資金は、返還すべき事由が生じた月の翌月から貸付けを受けた期間の2倍の期間以内に返還しなければならない。

3 修学資金の返還は、一括、年賦、半年賦又は月賦とする。ただし、選択した返還の方法にかかわらず、借受人は、任意でこれを繰り上げて返還することができる。

4 借受人から返還を受けた修学資金（以下「返還金」という。）については、岩国市看護師等確保対策基金（以下「基金」という。）に積み立てるものとする。ただし、基金が廃止された場合にあつては、返還金は国庫に返納するものとする。

（借用証書の提出）

第13条 修学生（修学生が死亡しているときはその相続人）及び連帯保証人は、修学資金の貸付期間が満了したとき、又は条例第8条第2項の規定により修学資金の貸付けを停止されたときは、速やかに看護学生修学資金借用証書（様式第17号）を市長に提出しなければならない。

（在職の確認）

第14条 借受人は、条例第9条第1項第1号に規定する義務期間の毎年度末に在職証明書（様式第18号）を市長に提出しなければならない。

（補則）

第15条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

（宛先）
岩国市長 様

看護学生修学資金貸付申請書兼委任状

次のとおり修学資金の貸付けを受けたいので、岩国市看護学生修学資金貸付条例第5条及び同条例施行規則第5条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

また、修学資金の貸付けが決定された場合の当該修学資金の受領の権限を次の看護学校に委任します。

（表）

申請者	住 所							
	氏 名		Ⓜ					
	生 年 月 日		年 月 日		電話番号			
	家族 の 状 況	続柄	氏 名	年齢	職業	勤務先	年収	同居・別居 の別
							円	
看護学校	所 在 地							
	名 称							
	代 表 者 名 （ 学 校 長 名 ）							
修学 期間等	入 学 年 月 日		年 月 日		卒業予定年月日		年 月 日	
	貸 付 希 望 期 間		年 月 から 年 月 まで		貸 付 希 望 総 額		円	
	うち 初 年 度 貸 付 期 間		年 月 から 年 月 まで		うち 初 年 度 貸 付 金 額		円	
	初年度学費の 内訳		入学金 円・授業料 円 その他（ ） 円				合計 円	
修 学 の 種 類		保健師 ・ 看護師						
他の奨学金の借入状況		無 ・ 有（奨学金の名称： ）						

(裏)

連 帯 保 証 人	住 所			
	氏 名			
	生 年 月 日	年 月 日	電話番号	
	職 業			
	住 所			
	氏 名			
	生 年 月 日	年 月 日	電話番号	
	職 業			

添付書類

- (1) 申請者及び同一生計者全員の住民票の写し
- (2) 申請者の学業成績表
- (3) 看護学校の在学証明書又は入学許可書の写し
- (4) 申請者及び同一生計者全員の所得証明書
- (5) 申請者及び連帯保証人が署名押印した誓約書（様式第2号）
- (6) 申請者及び連帯保証人の印鑑登録証明書
- (7) 連帯保証人の市町村民税の課税証明書及び市町村民税の完納証明書

様式第2号（第5条関係）

年 月 日

（宛先）
岩国市長 様

申請者	住所 氏名	印
-----	----------	---

連帯保証人	住所 氏名	印
-------	----------	---

連帯保証人	住所 氏名	印
-------	----------	---

誓約書

岩国市看護学生修学資金貸付条例に基づく修学資金の貸付けを受けるに当たり、同条例及び同条例施行規則を遵守し、卒業後直ちに岩国市内に居住し、市内の医療機関等において看護師等の業務に従事することを誓約します。

なお、修学資金を返還する必要がある場合は、申請者及び連帯保証人は連帯して債務を負担することを誓約します。

年 月 日

（宛先）
岩国市長 様

申請者 住所
氏名 ㊟
電話番号

看護学生修学資金貸付継続申請書兼委任状

次のとおり修学資金の貸付けを継続したいので、岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則第5条第2項の規定により、関係書類を添えて申請します。

また、修学資金の貸付けが決定された場合の当該修学資金の受領の権限を次の看護学校に委任します。

貸付承認番号		
貸付承認年月日	年 月 日	
修学資金の額	円（年額）	
貸付期間	年 月 から 年 月 まで	
貸付期間中の学費の内訳	・授業料 円 ・その他（ ） 円	合計 円
看護学校	所在地	
	名称	
	代表者名 （学校長名）	

添付書類
学業成績表

（宛先）
岩国市長 様

看護学校所在地

名称

代表者名

⑩

（学校長名）

推薦書

次の者は、岩国市看護学生修学資金貸付条例に基づく修学資金の貸付けを受ける者として
適当と認めるので推薦します。

学科 (学年)	氏名	生年月日	学業成績	年収（円）	特記事項

※1 学業成績は、前学校又は前年度の評点平均値又はG P A数値を記入すること。

※2 年収は、看護学生修学資金貸付申請書兼委任状（様式第1号）に記載されている本人及び同一生計者全員の合計額を記入すること。

（宛先）
岩国市長 様

修学生又は借受人 住所
氏名

連帯保証人変更願兼誓約書

次のとおり連帯保証人を変更したいので、岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則第6条第4項の規定により提出します。

新 連 帯 保 証 人	住 所			
	氏 名			
	生 年 月 日	年 月 日	電話番号	
	職 業			
旧 連 帯 保 証 人 氏 名				
変 更 理 由				

連帯保証人は、岩国市看護学生修学資金貸付条例及び同条例施行規則を遵守し、修学資金を返還する必要がある場合は、修学生又は借受人と連帯して債務を負担することを誓約します。

連帯保証人 氏名 ㊟

添付書類

- (1) 新たな連帯保証人の印鑑登録証明書
- (2) 新たな連帯保証人の市町村民税の課税証明書及び市町村民税の完納証明書

様式第6号（第7条関係）

第 号
年 月 日

様

岩国市長

印

看護学生修学資金貸付承認決定通知書

年 月 日付けで申請のありました修学資金の貸付けについては、次のとおり承認することに決定しましたので通知します。

修学資金の額	円（年額）
貸付期間	年 月から 年 月まで

様式第7号（第7条関係）

第 号
年 月 日

様

岩国市長

印

看護学生修学資金貸付不承認決定通知書

年 月 日付けで申請のありました修学資金の貸付けについては、審査の結果、承認しないことに決定しましたので通知します。

不承認の理由

年 月 日

（宛先）
岩国市長 様

届出者 住所
氏名
電話番号

異動届

次のとおり異動がありましたので、岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則第 9 条第 1 項の規定により届け出ます。

区分	異動事由発生日又は期間	理由
退学	年 月 日	
休学	年 月 日 ～ 年 月 日	
停学	年 月 日 ～ 年 月 日	
長期欠席	年 月 日 ～ 年 月 日	
留年	年 月 日 ～ 年 月 日	
その他の異動 （氏名、住所等）	年 月 日 （異動内容）	

【学校証明欄】

上記のとおり、_____したことを証明します。 年 月 日 看護学校名 学校長氏名 ㊟

※ 看護学校を卒業している者にあつては、学校長の証明に代えて、住民票の写し等異動の事実を証明する書類を添付すること。

年 月 日

（宛先）
岩国市長 様

届出者 住所
氏名
電話番号

復学（進級）届

次のとおり復学（進級）したので、岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則第9条第3項の規定により届け出ます。

- 1 復学（進級）年月日 年 月 日
- 2 事 由
- 3 期 間 年 月 日 から
年 月 日 まで

【学校証明欄】

上記のとおり、_____したことを証明します。

年 月 日

看護学校名
学校長氏名

印

年 月 日

（宛先）
岩国市長 様

届 出 者 住所
氏名
電話番号

連帯保証人 住所
氏名
電話番号

連帯保証人 住所
氏名
電話番号

辞退届

次のとおり修学資金の貸付けを受けることを辞退しますので、岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則第 9 条第 4 項の規定により届け出ます。

1 辞退年月日 年 月 日

2 辞退理由

3 修学資金受領済額 円

4 最終修学資金受領年月 年 月

年 月 日

(宛先)
岩国市長 様

修学生又は借受人の相続人 住所
氏名
電話番号

連帯保証人 住所
氏名
電話番号

連帯保証人 住所
氏名
電話番号

死亡届

次のとおり修学生又は借受人が死亡したので、岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則第 9 条第 6 項の規定により届け出ます。

1 氏 名

2 死亡年月日 年 月 日

3 死 因

4 在学看護学校名又は勤務先

5 修学資金受領期間 年 月から 年 月まで

6 修学資金受領済額 円

7 修学資金未返還額 円

添付書類

死亡の事実を証する書類

第 号
年 月 日

様

岩国市長

印

看護学生修学資金返還免除決定通知書

年 月 日付けで申請のありました修学資金の返還の免除については、
次のとおり決定しましたので通知します。

決定内容	<input type="checkbox"/> 承認	<input type="checkbox"/> 不承認
返還を免除する額 (承認)	円 (<input type="checkbox"/> 全額 <input type="checkbox"/> 一部)	
返還を免除する理由 (承認)		
返還を免除しない理由 (不承認)		

年 月 日

(宛先)
岩国市長 様

借 受 人 住所
氏名
電話番号

連帯保証人 住所
氏名
電話番号

連帯保証人 住所
氏名
電話番号

看護学生修学資金返還猶予申請書

私は、修学資金の返還の義務がありますが、岩国市看護学生修学資金貸付条例施行規則第 11 条第 1 項の規定により、次のとおり返還の猶予を申請します。

- 1 修学資金受領済額 円
- 2 修学資金受領期間 年 月 から 年 月 まで
- 3 猶予申請理由
 - 1 市内居住の上一定期間勤務予定 (医療機関等名 :)
 - 2 その他 ()
- 4 猶予申請期間 年 月 から 年 月 まで

添付書類

猶予の理由を証する書類

第 号
年 月 日

様

岩国市長

印

看護学生修学資金返還猶予決定通知書

年 月 日付けで申請のありました修学資金の返還の猶予については、
次のとおり決定しましたので通知します。

決定内容	<input type="checkbox"/> 承認	<input type="checkbox"/> 不承認
返還を猶予する額 (承認)	円	
返還を猶予する期間 (承認)	年 月 から	年 月 まで
返還を猶予する理由 (承認)		
返還を猶予しない理由 (不承認)		

年 月 日

(宛先)
岩国市長 様

借 受 人 住所
氏名 ⑩
電話番号

連帯保証人 住所
氏名 ⑩
電話番号

連帯保証人 住所
氏名 ⑩
電話番号

看護学生修学資金返還明細書

岩国市看護学生修学資金貸付条例第 11 条及び同条例施行規則第 12 条の規定により、貸付けを受けた修学資金を次のとおり返還します。

貸付期間	年 月から 年 月まで 年 月間			
看護学校名	所在地			
	名称			
返還総額	円	返還方法	1回の返還額	
		一年 括 半年 賦 月 賦	円	
返還期間	年 月から 年 月まで か月間	返還期日	毎月	日
			毎年	第1回 月 日 第2回 月 日

年 月 日

(宛先)
岩国市長 様

修 学 生 住所
氏名 ⑩
電話番号

連帯保証人 住所
氏名 ⑩
電話番号

連帯保証人 住所
氏名 ⑩
電話番号

看護学生修学資金借用証書

私は、次のとおり看護学生修学資金を借用いたしました。

1 借用金額 円

2 貸付期間 年 月 から 年 月 まで

年 月 日

(宛先)
岩国市長 様

医療機関等住所

名称

代表者名

⑩

在職証明書

次の者は、 年 月 日現在当医療機関等に在職していることを証明します。

在職者氏名	
職種	保健師 ・ 看護師